

2014年9月24日

【アピタル夜間学校】  
もっと知ってほしい がんと分子標的薬のこと  
アンケート結果及びご寄付の報告

2014年9月17日(水)秋葉原UDXシアターにて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。98名の方にお申し込み頂き、当日は74名の方が参加され、うち、51名の方からご意見を頂きました。(回収率68.9%)。

頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則全て記載し紹介しています。

当セミナーにて参加者の方々から頂きましたご寄付は17,000円です。頂きましたご寄付はCNJのがん啓発活動などを運営する資金に充てさせて頂きます。皆様のサポートに心から感謝いたします。ありがとうございます。

(1) 今回のセミナーはどのような媒体でお知りになりましたか？

① CNJのホームページ(ブログ)などのイベント告知	33.3%
② キャンサーチャンネルのイベント告知	9.8%
③ UDXオープンカレッジのイベント告知	7.8%
④ 朝日新聞・アピタルの告知	5.9%
⑤ Twitter facebook等のSNS(RT,シェアを含む)	9.8%
⑥ CNJ以外の患者会・支援団体からのお知らせ	0.0%
⑦ 友人・知人に誘われて	9.8%
⑧ 新聞・雑誌などマスメディアの告知	3.9%
⑨ 病院でのポスター告知など	13.7%
⑩ その他(前回の会で、など)	5.9%
無記入	0.0%

(2) あなたのお立場に○印をお願いします。

① 患者(治療開始前)	2.0%
(通院治療中)	19.6%
(治療後フォロー中5年以内)	7.8%
(治療後5年以上経過)	2.0%
(無記入)	2.0%
② 患者の家族・友人	19.6%

③ 医療関係者（医師）	0.0%
（看護師）	5.9%
（薬剤師）	3.9%
（その他）	5.9%
（無記入）	2.0%
④ 製薬・医療機器・メディア関係	5.9%
⑤ その他（薬学生・がん予防・保険会社・一般など）	19.6%
無記入	3.9%

(3) プログラムに関するご感想を教えてください。

■ 基調講演：照井 康仁先生「もっと知ってほしい がんと分子標的薬のこと」

① 大変参考になった	45.1%
② 参考になった	41.2%
③ 参考にならなかった	2.0%
④ どちらとも言えない	0.0%
無記入	11.8%

■ Q&A トークセッション

① 大変参考になった	33.3%
② 参考になった	41.2%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	0.0%
無記入	25.5%

(4) 治療に関する情報はどのような媒体で入手しましたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような媒体で入手すると思いますか？（複数回答可）

① 医療者（医師・看護師・薬剤師など）	37	72.5%
② 書籍	25	49.0%
③ インターネット	41	80.4%
④ 同じ病気の患者	8	15.7%
⑤ がん患者会	7	13.7%
⑥ 患者団体・患者支援団体	1	2.0%
⑦ 病院の相談窓口	8	15.7%
⑧ NPO などの相談窓口	0	0.0%
⑨ その他（TPEC に相談）	1	2.0%
無記入	1	2.0%

(5) インターネットで情報を収集する際、どんなことに気をつけていますか？

(複数回答可)

① 誰が書いているか、明示されている	35	68.6%
② 情報の出典が明記されている	33	64.7%
③ 情報の更新日が明記されている	22	43.1%
④ 情報発信の目的(営利・非営利)が明確にされている	18	35.3%
⑤ その他	4	7.8%
無記入	2	3.9%

\*その他詳細

- ・ 営利目的で誘導する詐欺サイトでないか。
- ・ 信頼性のあるサイトを利用。
- ・ 信じ込まない。主治医の情報も信じすぎない。医療もがんの状態も日々変わるから。
- ・ 後援、共催者。

(6) 治療を受けるにあたって、どのような情報が必要でしたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような情報が必要だと思いますか？(複数回答可)

① 施設情報(病院など)	29	56.9%
② 医師情報(専門医など)	27	52.9%
③ 治療法の情報	40	78.4%
④ 薬剤に関する情報	26	51.0%
⑤ 治療以外(心の問題など)の相談窓口	16	31.4%
⑥ 医療費に関する情報	15	29.4%
⑦ 同じ病気の体験談	9	17.6%
⑧ その他	0	0.0%
無記入	2	3.9%

(7) がん対策を進める上で、どの領域がもっと重要だと思いますか？

① がんの予防の推進	19.6%
② がんの検診の推進	41.2%
③ がん治療(研究)の推進	60.8%
④ 治療後の社会的支援	17.6%
⑤ その他	7.8%
無記入	3.9%

\*その他詳細

- ・ 家族の支援。
- ・ 保険適用となる治療薬の認可。
- ・ エピジェネティクスの観点からのがん発生の根本原因の追究。量力学的観点。
- ・ 治療費の備え保険。

(8) がん治療をよくする上で、患者(患者会・支援団体)の役割は重要だと思いますか？

① 強く思う	43.1%
② 思う	49.0%
③ 思わない	0.0%
④ どちらとも言えない	5.9%
無記入	2.0%

(9) もっとも、キャンサーネットジャパンに期待する活動は何ですか？

① がん患者(家族)向けセミナー・イベントなど	52.9%
② がん患者(家族)向け教育プログラムなど	9.8%
③ がん患者(家族)を含めた一般の人へのがん疾患啓発事業	39.2%
④ 体験者同士のピアサポートプログラムなど	5.9%
⑤ がん医療政策提言などのロビー活動	11.8%
無記入	16.7%

～今回のセミナーで新たに得られた情報はありますか？～

【患者】

(通院治療中)

- ・分子標的薬が効く仕組みが難しいことがわかった。

(治療後フォロー中5年以内)

- ・分子標的薬の作用の仕組みが可視化され、具体的で分かりやすかった。がんの発生～転移まで。

【患者の家族】

- ・すべて。
- ・ありました。
- ・分子標的薬の作用機能について理解が深まった。また副作用も今までのより少ない様だと分かった。

【医療従事者】

(看護師)

- ・得られた情報もあったが、不要な情報も多かった。
- ・血液内科に使われる分子標的薬について。

(薬剤師)

- ・効果が6割以上。血液のがんに効果が高い。

- 抗体医薬の種類について。

(その他)

- 分子標的薬の種類と適応、副作用。

(無記入)

- 治療薬の種類が多く、がんにより多くのバリエーションのあることを知った。

【その他】

- ゼバリンは一生に一回しか使用できないこと、及び理由。分子標的薬の中で抗体医薬や低分子化合物の違いやメカニズムについて。日本人では分子標的薬の副作用として間質肺炎。
- 大学の授業よりも詳しい内容がわかったので良かったです。
- 分子標的薬概要についての勉強ができました。
- 初めてセミナーに参加したので、とにかくいろんなことが初めて知ることだった。
- 分子標的薬の事を今までより知ることができた。

～もっと知りたい情報は何か？～

【患者】

(治療後フォロー中5年以内)

- 手術後、治療による副作用とその対策。治療後の社会、家庭復帰へのアドバイス。
- 食道がんの最新の治療と成果。

【患者の家族】

- 肺がん治療(転移部分を含む)。父は高齢で、生命保険や医療保険はすべて解約してしまっている。高額の治療費が支払えるかどうかで、適切な治療法を選択できるかで、余命が変わってしまうことがないような資金援助や制度(公的)がないものか。
- 価格。

【医療従事者】

(看護師)

- 各がん別に知りたい。正直自分に関係ない情報はいらないので。対象者(受講者)が様々だから?仕方ないとは思いますが。
- 血内以外での薬の使い方、副作用とその対処、お金の事、情報の取り方。

(薬剤師)

- 従来の抗がん剤と分子標的薬の使い分け。ope と放射線治療との使い分けなど。生存率

についてもっと知りたい。

- 治療率の変遷。

(その他)

- 治療効果(統計)、分子標的薬の止めざるを得なかったケース。効果のある患者と無い患者の違い。

(無記入)

- すい臓がんで友人を4人亡くしているので、すい臓がんの予防、診断、治療法について詳しく知りたい。

【製薬・医療機器・メディア関係】

- 具体的な副作用対策。副作用の多い少ない薬の違い。

【その他】

- がん種ごとの特徴的な分子(分子標的薬)など。
- 実際のがん患者さんの話。
- 3大治療法に続く、最近話題になっている樹状細胞治療などの先進医療について、その現状と信頼性について！！
- がんという病気に対し、西洋医学的アプローチだけでなく、東洋医学や自然療法的アプローチ、もしくは併用することによる効果等を知りたい。
- 高額療養費や健康保険などのしくみ。先進医療を受けた場合の費用負担。粒子線治療について→小児がんとの関係など。

～その他、セミナーに参加してのご感想・ご意見等～

【患者】

(通院治療中)

- メモを取るには今回の会場の方が取りやすかった。
- 今日(昨日)は難解でした。後から配信で復習します。
- 同じ分子標的薬を使っている患者はブログなどを通じて情報交換できていますが、医師側で横のネットワークがないものではないでしょうか。

(治療後フォロー中5年以内)

- 患者の体験、要望を政府、企業、社会へ伝える。患者→患者、患者と関係者の内輪で盛り上がるのではなく、知らない人々、社会へ発信、知ってもらえるよう頑張ってもらいたい。ネット配信、アーカイブはとても良い。会場に来れない人々はとても多いと思うので。とても分かりやすく有用な内容ありがとうございました。

#### 【患者の家族】

- 多くの方がこのセミナーのシリーズを知ることができるようにしてほしい。上映資料が大変良いので、情報量が多いため、配布していただけたらうれしい。
- とても参考になりました。ありがとうございました。
- ありがとうございました。

#### 【医療従事者】

##### (看護師)

- 医療関係者の私が聞いても難しいものがあります。復習するためにもハンドアウトとしてパウポの資料があった方がいいと思います。
- 免疫療法についてセミナーをやってほしい。患者と医療者、厚生省の人や都、県の役人と話し合える場をもうけてほしい。大変勉強になりました。

##### (薬剤師)

- 可能ならば、スライドの資料があればと考えます。
- 今後も活動、期待しています。

#### 【製薬・医療機器・メディア関係】

- コンパクトにテーマに沿った内容を聞く事が出来て勉強になります。また、患者さんがどのような情報を求めているか知ることでもできるので、勉強になります。患者さんや家族の方も知ることができて素晴らしい機会と思います。これからも応援しておりますので頑張ってください。朝日新聞さんも社会に貢献する素晴らしい活動もされているので、名誉挽回するようぜひ頑張ってください。患者団体さんはいろいろありますが、それぞれ孤立するのではなく、協力しあって活動されたらより患者様のためになるかなと思うことはあります。

#### 【その他】

- 学校での授業よりとてもわかりやすく、勉強になった。Q&A セッションなどでも様々なことを知れた。分子標的薬を患者さんに説明するときには役立ちそうな情報も色々あったので、とても勉強になった。
- 本当に勉強になりました。ありがとうございました。
- 大変、結構だと思えます。今後とも参加、勉強をさせていただきたいと思えます。
- 今回のセミナーはカタカナや英語が多く、やや専門的で難しかったです。分子標的薬について詳しく知れてよかったです。

#### 【無記入】

- 大変勉強になりました。ありがとうございました。